



■ **新型コロナウイルス問題**

・ **ジェンダーの視点から新型コロナウイルス問題を考える** ..... 2

世界中を席卷する新型コロナウイルスで経済活動は停滞し、日常生活も制限される「戦時体制」で「北京+25」の動きも全て止まってしまいました。船橋邦子代表が、閉塞感のなかで考えた問題提起です。

・ **新型コロナウイルスと 唐突な休校・中止・延期イベントについて  
地域の状況** ..... 3

2月28日、安倍首相の突然の休校要請により、学校関係者、母親、子どもたちが直面した困惑や困難など、地域のさまざまな動き、問題について仙台市議会議員、樋口典子さんによる市議会での質問を含めた地域からの発信です。

■ **「性暴力がなぜ無罪になるのか!」**

～ **刑事司法における性差別と不正義** ..... 4

父親などによる性暴力事件の無罪判決が全国の地裁で続いた2019年。3月名古屋高裁で逆転有罪判決が出ました。東京男女平等条例ネットの宮崎黎子さんに刑法学者後藤弘子さんの講演、刑事司法の性差別性と不正義、今後の刑法改正などについてご報告いただきました。

■ **大きな反響があった NHK 証言記録・東日本大震災**

「埋もれた声 25年の真実 災害時の性暴力」 ..... 5

3月1日、NHK 総合テレビで上記の番組が放映されました。25年間、このテーマをフォローしてこられた、ゆのまえ知子さんが他の災害被災地で取り組んできた女性たちとともに登場。性暴力を扱った番組が完成した背景について、ゆのまえ知子さんが描いています。

■ **原発、台風、ウイルス…目の前の苦しみから目をそむけないために** ..... 6

2月28日、福島市で第1部人道支援の国際基準である「スフィア基準」の学習、第2部イタリアと日本の避難所の比較についてのシンポジウムが開催されました。福島原発事故による国内避難の方々に対する支援活動に取り組んでおられる薄井篤子さんのご報告です。

■ **「北京+25」シリーズ③**

「北京」から地域へ 地域から「北京+5」(ニューヨーク)へ  
持続可能な未来へ ..... 7

北京 JAC 発足の際に重要な役割を果し、3年間事務局長を務め、2000年「北京+5」に地域コアカスの皆さんとニューヨークの会議に参加、その後の北京 JAC 中部コアカスを立ち上げ、産官学民の地域のネットワークで持続可能な未来をめざす活動を続けておられる羽後静子さんからのメッセージです。

■ **総会案内、講演会案内、世話人会報告など** ..... 8